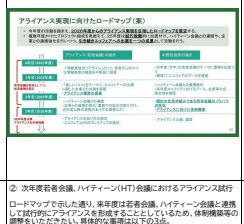
2024年中野若者会議での政策提言内容と区の対応状況

（対応方針の凡例）

◎：全部実施可能　○：一部実施可能　●：実施済み　△：検討中　×：実施不可

No.	グループ	提言の要旨	担当部 （担当課）	対応方針	対応方針の説明・理由	対応状況 対応状況 （2025年4月～9月）	対応状況 対応状況 （2025年10月～2026年3月）	対応結果 （2026年3月末時点）
1-1	①中高生の居場所チーム	①来期以降の若者会議において「中高生の居場所」をテーマに活動する場合は、若者の希望や負担感に配慮して、中高生を伴走するサポートチームと政策提言チームに分ける等の工夫をお願いします。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	×	若者会議と中高生の聞わりについては、イベント実施や課外活動時などにおいて参加メンバーが交流・サポートすることで、お互いの活動に相乗効果がまれることを目指していきます。中高生のサポートのみに限定したチームを設ける予定はありませんが、中高生との関わり方については当該年度の参加メンバーとも一緒に検討していきます。			
1-2	①中高生の居場所チーム	②若者会議メンバーに中高生をサポートする役割を求める場合、その旨を募集要項に明記してください。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	○	本提言について踏まえたうえで、中高生のサポートに関する内容がわかるような募集要項を作成します。	2025年度については、中高生のサポートに関するテーマをあらかじめ設置せず、より選択性のあるテーマ設定としました。	–	次年度以降についても、参加者の満足度につながるようなテーマ設定について検討していきます。
1-3	①中高生の居場所チーム	③若者会議メンバーに中高生をサポートする役割を求める場合、中高生をサポートする手法やスタンスについて学ぶサポート研修を実施してください。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	△	運営事業者と連携しながら、中高生のサポートに関する手法やスタンスについて学ぶ機会をどのように提供できるか検討していきます。	2025年度については、中高生のサポートに関するテーマをあらかじめ設置せず、より選択性のあるテーマ設定としました。 ティーンズ会議と一体的な運営としており、年代を超えた意見の交流を通して、双方に学びと気づきをもたらす場として、それぞれの区長への意見表明・政策提言発信会を見学しあうことを予定しています。	11月に開催したティーンズ会議報告会では、若者会議メンバーが有志で見学し、小中高生の意見表明に対するコメントを行いました。 12月に開催した若者会議報告会では、中高生からコメントをする機会をつくりました。	次年度以降についても、参加者の満足度につながるようなテーマ設定について検討していきます。 また、ティーンズ会議との連携についても引き続き検討を進めていきます。
1-4	①中高生の居場所チーム	④中野若者会議のさらなる活動、発展のため、先進的な地域を視察・交流するための予算があると望ましいです。また、そうした機会に区職員の積極的な参加を希望します。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	○	2025年度においては、これまでよりも課外活動や先進自治体の視察などに関して充実させる予定です。	課外活動・テーマ研究・アクション経費の予算を拡充しており、区内の視察先としては、まこと会議・ヤングケアラー視察に加えて、区内の視察先としては、多摩市若者会議（Michi カフェ）、世田谷区アップスを視察しました。11月には、先進県実施対応かたのためまちミットに参加予定であり、区職員も同行する予定です。	11月に実施県実施対のかかものまちサミットに若者会議メンバー・委託事業者・区職員の3者で参加し、他自治体の取組について学びました。	次年度以降についても課外活動や先進自治体の視察について充実していきます。
1-5	①中高生の居場所チーム	⑤他地域の若者会議等を中野にお招きして、お互いの活動をさらに充実させるために、視察・交流できる機会があると望ましいです。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	△	若者会議を充実させるために、どのような視察・交流が実施できるのかについて、2025年度の参加メンバーとも一緒に検討していきます。	一部メンバーが今後ユースカウンシル事業を本格実施予定の世田谷区アップスを視察しました。他自治体等からの視察については受入を行いました。 12月には、一般社団法人日本青年館主催の、全国の若者施策行政職員向けのオンライン対話会に、区職員、委託事業者及び若者会議メンバーで参例先着を行う予定であるなど、供自治体との交流を企画しています。	2025年12月に一般社団法人日本青年館主催の、全国の若者施策行政職員向けのオンライン対話会に、中野区の事例発表を行うことで、区外に向けて「中野若者会議の取組を周知しました。 10以上の自治体が参加し、中野区の若者会議をPRするよい機会になりました。	次年度以降についても若者会議を充実させるために、どのような視察・交流の実施できるのかについて、参加メンバーとも一緒に検討していきます。
2-1	②情報発信チーム	①中野区についての提言 （1）中野区の情報発信のための、「意見収集のミーティング」の開催を希望します。開催にあたり、関係所管課の参加をお願いします。	企画部 （広聴・広報課）	○	若者会議で開催の折には参加、協力します。	2025年9月に若者会議（情報発信チーム）の呼びかけにより開催された、「意見収集のミーティング」に参加し、区、観光協会、若者会議（情報発信チームの3者で意見交換を行いました。11月には、第2回目の「意見収集のミーティング」に参加予定です。	2025年11月に開催された「意見収集のミーティング」に参加し、意見交換を行いました。	今後も情報交換・意見交換をしながら、情報発信を進めていきます。
2-1	②情報発信チーム	①中野区についての提言 （1）中野区の情報発信のための、「意見収集のミーティング」の開催を希望します。開催にあたり、関係所管課の参加をお願いします。	区民部 （文化振興・多文化共生推進課）	○	ご提案の意見収集のミーティングを開催する予定はありませんが、ご提案を参考に、様々な手法で区民の皆さんの聞わりをいただきながら進めて行きます。	2025年9月に若者会議（情報発信チーム）の呼びかけにより開催された、「意見収集のミーティング」に参加し、区、観光協会、若者会議（情報発信チームの3者で意見交換を行いました。11月には、第2回目の「意見収集のミーティング」に参加予定です。	2025年11月に開催された「意見収集のミーティング」に参加し、意見交換を行いました。	今後も情報交換・意見交換をしながら、情報発信を進めていきます。
2-2	②情報発信チーム	（2）情報を集約・発信する組織「情報発信局」を設立しませんか。実現可能性がある場合、運営形態や構成メンバーなどの検討も上記（1）「意見収集のミーティング」で継続的に検討しましょう。 【中野区情報発信局（仮）概要】 ■ミッション（案） （ア）情報を区民へ届けるために、SNSやウェブページの宣伝をする（手段：駅や区役所のデジタルサイネージや転入時の口頭説明など）。 （イ）区からの情報、区への情報の集約・一元化を行う。 例1：情報を1箇所にまとめ、工夫した発信をする（例：あらゆる中野に関するマップを1つのマップ上に表示する、HPやSNS内にて だけで案内を完結させる）。 例2：中野区関連のSNSアカウント・ホームページの一覧を作成・公開する。 例3：公式LINEの活用度を高めるための活性化 例4：フィルムコミッションの活性化 （ウ）中野区の注目度を高めるため、高クオリティ・高頻度な内容の発信を行いませんか。特に動画発信には有効性があり、効果的な活用を求めます。 ■役割：区役所内の各部署、区内の様々な団体と連携し、情報発信局を ハブとしてすべての情報を集約する ■手法：会計年度任用職員や外部への委託などでリソースを確保し、コンテンツの質や頻度の向上、発信方法の工夫を行う。区職員だけでなく、広く区民からアドバイザリーボード、プロボノ実務者が参画できる仕組み・資源を準備する。	企画部 （広聴・広報課）	●	デジタルサイネージやチラシ、区報等でSNSの周知を行っています。 また、区のSNSや区政情報を取得できるアプリについて、一覧のページを設に作成し、HPよで公開しています。 https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kusei/ public/sns/sns.html 今年度から新たな動画編集クラウドサービスを導入し、動画での発信にも力を入れており、今後も分かりやすい情報発信に努めていきます。			
			区民部 （文化振興・多文化共生推進課）	△	運営組織については文化振興・多文化共生推進課では設立を予定していませんが、提言のあった施策（情報発信の集約、フィルムコミッション、動画発信）などについては、区民をはじめとした参加機会を設けながら促進していきます。	提言のあった施策（情報発信の集約、フィルムコミッション、動画発信）などについては、動画制作ワークショップ等で区民をはじめとした参加機会を設けながら促進しています。	提言のあった施策（情報発信の集約、フィルムコミッション、動画発信）などについては、映像制作ワークショップ等を実施するなどして、情報発信の機会を促進しました。	今後も提言のあった施策（情報発信の集約、フィルムコミッション、動画発信）などについては、区民をはじめとした参加機会を設けながら促進していきます。
2-3	②情報発信チーム	②中野若者会議についての提言 （1）中野若者会議のロゴ作成、そのほか、若者会議ブランドとしてのブランディングを進めませんか。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	△	若者会議は参加者が主体的に活動し、若者の声を地域や行政に届けていく場です。どのようにブランディングをしていくかの詳細は、当事者である参加メンバーと一緒に検討していきます。	2025年12月に予定している、一般社団法人日本青年館主催の、全国の若者施策行政職員向けのオンライン対話会にて、中野区の事例発表を行うことで、区外に向けて「中野若者会議の取組を周知する予定です。	2025年12月に予定している、一般社団法人日本青年館主催の、全国の若者施策行政職員向けのオンライン対話会にて、中野区の事例発表を行うことで、区外に向けて「中野若者会議の取組を周知しました。 10以上の自治体が参加し、中野区の若者会議をPRするよい機会になりました。	若者会議は参加者が主体的に活動し、若者の声を地域や行政に届けていく場です。どのようにブランディングをしていくかについて、引き続き当事者である参加メンバーと一緒に検討していきます。
2-4	②情報発信チーム	②中野若者会議についての提言 （2）会計年度にこだわらず、複数年度単位で中野若者会議の活動を継続できるようにしませんか。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	×	若者会議の事業運営委託が単年度契約であるため、年度で区切った活動としていますが、テーマに関しては次年度に引き継いでいくなど、継続して活動できる仕組みづくりについて検討していきます。			
2-5	②情報発信チーム	②中野若者会議についての提言 （3）若者会議の提言に対する実現の進み具合のフィードバックを、年3回程度に分けて報告いただけませんか。今年度の提言が、来年・再来年とどのように進んでいくのか知らせていただきたいです。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	◎	各所管課からの上・下半期ごとの対応状況のフィードバックを若者会議へ随時共有します。なお、年度末には年間を通した対応状況をHPにアップしていきます。	関係所管課へ上半期の進捗状況調査を実施しました。上半期の対応状況については、調査が取りまとめでき次第、区HPで公表予定です。 また、年間を通した対応結果について、年度末に区HPに掲載予定です。 なお、公表後は若者会議メンバーへSNSやメール等で順次共有する予定です。	関係所管課へ上半期の進捗状況調査を実施しました。下半期の対応状況については、調査が取りまとめでき次第、区HPで公表予定です。 また、年間を通した対応結果について、年度末に区HPに掲載予定です。 なお、公表後は若者会議メンバーへSNSやメール等で順次共有する予定です。	次年度以降についても、対応方針から対応結果まで、進捗状況を調査し、参加者へ共有していきます。
2-6	②情報発信チーム	②中野若者会議についての提言 （4）中野サンプラザの今後をはじめとする駅前周辺についても意見交換をしたいので、来期の中野若者会議において都市計画やまちづくり関連のテーマを設けていただきたいです。	子ども教育部 （子ども・教育政策課） 企画部 （広聴・広報課） まちづくり推進部 （中野駅周辺まちづくり課）	×	「中野駅新北口駅前エリアのまちづくり」については、区民の方々からまちづくりに関する疑問や、ご意見をうかがうため、2025年2月2日に「区民と区長のタウンミーティング」を実施しました。今後、必要に応じて区民との意見交換会等の実施についても検討していきます。 一方、中野駅周辺における市街地再開発事業については、民間事業者により実施される都市計画事業であり、若者会議のテーマとして意見交換することは馴染まないと考えますが、中野駅周辺のまちづくりに関するご意見やご不明点がございましたら、中野駅周辺まちづくり課までお問い合わせください。			
2-7	②情報発信チーム	②中野若者会議についての提言 （5）子ども食堂の活性化や企業連携で推進する等、食育についての活動をしたいので、来期の中野若者会議において関連するテーマを設けていただきたいです。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	△	本提言も踏まえたうえで、テーマを検討していきます。	2025年度若者会議では、若者が自由にチャレンジするための テーマとして自主コースを設定しました が、貧困に関するテーマで活動する自主コースは発足しませんでした。	–	次年度以降についても、若者会議からの希望にあわせてテーマを設定し、関係各所と連携していきます。
3-1	③多文化共生チーム	①中野若者会議のチーム分けにおいて、区へ提言することだけをゴールとするのではなく、地域を知り交流することを目的とする散歩の低いチームを設置を希望します。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	△	若者会議は、若者とまちを繋ぐハブ的役割を担うことによって、若者が主体的に活動し、若者の声を行政に届けることを主眼に置いています。政策提言を行わない散歩の低いチームの設定については、若者会議のありかも踏まえたうえで検討する。	2025年度若者会議では地域を知り交流することを第一とした、散歩の低い「入門コース」を設置しました。	–	次年度以降についても、若者会議からの希望にあわせてテーマを設定し、関係各所と連携していきます。
3-2	③多文化共生チーム	②中野若者会議に、より多様な文化的背景を持った若者が集まるよう、募集時の情報発信の幅を広げる工夫をお願いします。	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	○	参加メンバーの募集にあたっては、様々な区有施設や関係機関、大学等にチラシ配布を行うとともに、区SNSアカウントでの周知も行いました。 また、過去若者会議参加者にも呼びかけを行いました。	参加メンバーの募集にあたっては、区有施設や関連施設、大学等にチラシ配布を行うとともに、区SNSアカウントでの周知も行いました。 また、過去若者会議参加者にも呼びかけを行いました。	–	次年度以降についても、若者年代に届くような情報発信方法を検討していきます。
4-1	④環境×生活チーム	①「なかエコアライアンス（仮称）」の立ち上げを目指した、ロードマップ、アライアンス構想の検討 提言書で示したロードマップに対し、実現可否など回答をいただきたいです。  	環境部 （環境課）	○	ロードマップについては、二年目までの活動は普及啓発活動として十分実施できると考えています。 三年目のアライアンス、広報等については、他での事例等を研究しながら若者会議で一緒に検討していきます。	若者会議での環境チームの活動がないため、ティーンズ会議との連携について、検討中です。	若者会議での環境チームの活動がなかったため、ティーンズ会議メンバーによるエコアエア出展を実施しました。	2026年度に環境チームの発足がある場合には、協働する予定です。
4-2	④環境×生活チーム	② 次年度若者会議、ハイティーン（HT）会議におけるアライアンス試行 ロードマップで示した通り、来年度は若者会議、ハイティーン会議と連携して試行的にアライアンスを形成することとしているため、体制構築等の調整をいただきたい。具体的な事項は以下の3点。 (1)若者会議における環境Tの設定 (2)HT会議における環境Tの設定、テーマ選定に際した若者会議メンバーからのブリーフィング (3)上記(2)が、今年度同様集まらない or他の事情で難しいとき）HT会議の時間外活動として、エコフェアブース参加機会の調整、告知機会の確保	子ども教育部 （子ども・教育政策課）	△	(1)次年度の環境チームの設定については、これまでの提言内容や若者自身の主体的な参画が確認できるかという観点も踏まえ、検討していきます。 (2)ハイティーン会議のチャレンジテーマについては、ハイティーン会議参加メンバーの意思によって設定しています。ブリーフィングなどに関しては、若者会議とハイティーン会議との関わりの観点も踏まえて、検討していきます。 (3)ハイティーン会議の活動やイベント実施内容については、参加メンバーの意向によるところが大きいです。中高生に対する告知など若者会議の活動時間や交流については、検討していきます。	(1)2025年度は環境テーマを設置したが参加者が集まらなかったため、ティーンズ会議のサポートとして有志メンバーでかかわる形としました。 (2)ティーンズ会議にて環境テーマの発足とエコフェアへの出展を予定しております。有志の若者会議メンバーが協力体制をとるなど、相互の関わりが期待できます。 (3)若者会議のテーマとして環境テーマを設置したが参加者が集まらなかったが、ティーンズ会議の環境チャレンジメンバー及び有志の若者会議メンバーの協働でエコフア出展に向けた準備を行っています。	2025年度なかのエコフェアにて、ティーンズ会議と連携し出展を行いました。	次年度以降についても、若者会議からの希望にあわせて環境テーマを設定し、関係各所と連携していきます。
4-3	④環境×生活チーム	③ 来年度のエコフェアでのブースの確約 来年度試行するアライアンスの一つの目標をエコフェアの出展としているところ、来年度も引き続きエコフェアでの1ブース以上を若者会議・ハイティーン会議として確保・柔軟に企画等対応をいただきたいです。	環境部 （環境課）	○	来年度のエコフェアでのブースの確約について、配置は他の出展団体との調整になりますが、出展ブースについては確保していきます。	出展に向け調整中です。	残念ながら、若者会議としての出展は、チームがそろわなかったため達成できませんでしたが、ティーンズ会議の環境チームが出展し、若者会議のメンバーには、そのサポートをしてもらいました。	発表の場としてのエコフェアへの出展希望があった際には、ブースを確保します。
4-4	④環境×生活チーム	④ 来年度に向けた体制構築、所管課との連携 環境課の担当者がアライアンスの設立を見据えて、来年度の若者会議・ハイティーン会議に伴走する体制の構築を希望します。	環境部 （環境課）	◎	来年度の伴走する体制については、チームが発足した場合については極力協力します。	–	–	–
4-5	④環境×生活チーム	⑤ 企業協賛の取り付け協力 企業側からは、中野区役所クレジットのある依頼書等があれば幅広に協力できる可能性は高いとの旨、若者会議への企業担当者参加などより実のある共創を実現するために、連携のあり方について柔軟な対応をお願いします。	環境部 （環境課）	○	企業の協賛、その取り付けについて、内容により可能な限り対応していきたいと考えています。	若者会議の環境チームのメンバーがいないため、実施しませんでした。	–	–